移動昇降式足場「リフトクライマー」利用増

探訪 改修現場

建物全体覆うネット不要に―眺望損なわず日当たり確保も

東北でも仙建工業が採用

マンションの大規模修繕工事の際、移動昇降式足場「リフトクライマー」が使用されるケースが増えてきた。建物に固定されたマスト（柱）に沿って作業ステージが上下に移動する、この足場は、建物全面に養生シートを覆う必要がなく、眺望を損なわず日当たりも確保されることから、「足場の革命」とさえ言われている。

東北地方で初めて同足場を使用してマンションの改修工事を手掛けたのが、地場ゼネコン大手の仙建工業（本社仙台）だ。仙台市内の「ロイヤルパレス長町南」（九階建て、七十二戸）の改修工事現場（工期―今年一月中旬～六月末）でリフトクライマーが採用された。

採用経緯を同社の仙台建築出張所の加藤正敏所長は次のように語る。

「提案型のプレゼン現場だった。マンションの一階部分が駐車場で工事中も駐車場をそのまま使いたいということで管理組合に提案した。従来の足場より割高となるが、それ以上に駐車場が使え、ベランダからの眺めも変わらないなどのメリットの方が大きいと管理組合が判断され、採用となった」

リフトクライマーは上下に移動する作業ステージの部分だけ、塗料等の飛散防止用のネットを張る。そのため、圧迫感がない。施工性も高いという。

「足場の組み立てとばらしの時間が減少できる。通常の足場と比較すると半分以下の時間で済む。とび職の人数も少なくて済む。ゴンドラだとかごの幅が限られているが、リフトクライマーは二〇㍍以上伸ばせるから作業性が高い。想像していた以上に風に強く、安定感も良い」と加藤所長は話す。

駐車場が普段通りに使えたため住民の評価は高かったそうだ。ただ、労働基準監督署への届け出の際、乗り降り個所の指定があり作業動線の関係で二階からの乗り降りとなったため、作業終了時は二階停止となり、二階住民から「何とかならないか」との意見が寄せられたという。

「今後は最上階に上げる（乗り降りも最上階からとなる）など工夫して、工事環境の改善に努めたい」と加藤所長は語る。

同社ではリフトクライマーを使っての次のマンション改修工事現場（福島県郡山市）も決定した。

「一階が駐輪場の現場だ。通常の足場でもギリギリ組めないこともないが、自転車の出し入れスペースを考慮してリフトクライマーを使用することとなった。今のところ割高の足場だが、当社を含めて採用する現場が増えればコストが下がるはず」と加藤所長は、リフトクライマーの将来性に期待している。

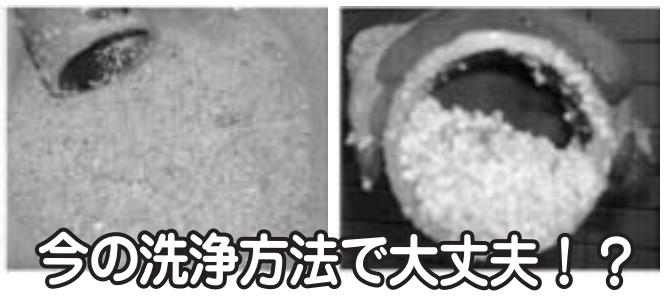
「リフトクライマー」が採用された仙台市内の「ロイヤルパレス長町南」での作業風景。写真左は仙建工業・仙台建築出張所の加藤正敏所長

ディスポーザーDOC工法

脱臭・殺菌・旋回洗浄

排水管オゾン旋回洗浄　特許工法:特許第3223974号

現状
①立本管の付着物の量が多い
②横引本管が卵殻等の堆積物で充満
③腐敗した異様な悪臭が室内に侵入



今の洗浄方法で大丈夫！？

全て解決

技術を全て公開
見学会のご案内

技術研修センター（両国駅5分）では、排水枝管・本管・横引本管を透明管で洗浄を実演し、御自分の目でご納得いくまでご覧になることができます。
（1分間に60回旋回・1分間に3,5m引上げ　自動洗浄）
是非ご覧いただきますよう、ご案内申し上げます。（1人～15人位まで）

資料請求・見学会のお問合せは

タイキ工業株式会社

本　社　〒130-0026 東京都墨田区両国2-9-5
☎03-3634-2301㈹ FAX 03-3634-2318
担　当　森岡・和久田